

# オッフェンバック作曲 歌劇「地獄のオルフェ」

190801

| 幕          | 場 | 場面                     | 内容  | 分  | 主な歌う登場人物 |       |             |       | 見どころ |
|------------|---|------------------------|---|----|----------|-------|-------------|-------|------|
| 第一幕<br>90分 |   |                        | 序曲  | 10 |          |       |             |       |      |
|            | 1 | オルフェと「世論」がユルデイスを迎えに行く  | 「世論」は、一般人の美德の守護者であり、その正しさを説くのだ、と歌う。<br>ユルデイスは、不倫相手である羊飼いのアリステ(実は地獄の神プリュドン)のために、花を摘んでいる。<br>他方、ヴァイオリンの名手オルフェは、不倫相手である羊飼いの娘クロエのために、セレナードを奏でる。<br>「世論」の批判を恐れるオルフェは、ユルデイスを毒蛇に殺されたように事故死を仕組む。<br>オルフェの意図通り、ユルデイスは毒蛇にかまれて、アリステによって、地獄に連れていかれる。<br>オルフェは、悲しむことなく、ユルデイスが残した書置きを読んで、羊飼いの娘の所へ行けると喜ぶ。<br>オルフェは、道徳を重視する「世論」から、ユルデイスを黄泉の国から連れ戻すよう、強く言われたので、ししぶ「世論」の監視のもと、天国の世界に向かう。  | 40 | オルフェ     | ユルデイス | プリュドン(アリステ) | 世論    |      |
| 第二幕<br>40分 | 2 | ジュピテルの命令でユルデイスを戻すことにする | 明け方、オリュンポス山では雲に包まれていたが眠りの神モルペウスだけが起きていた。<br>美の女神ヴェヌス、恋の女神キューピドン、戦いと農耕の神マルスが各々の夜の営みから戻ってくる。<br>狩猟の女神ディアヌが吹く角笛が響きわたる一同は目を覚ました。<br>ディアヌは、毎朝会う約束をしている羊飼いのアクタイオンが現れなかったので、浮かぬ顔をしている。<br>ジュピテルは、女神ディアヌが羊飼いのアクタイオンと逢引きしているのを、民衆に見られて悪い評判が立ったので、アクタイオンを鹿の姿に変えた、と説明するが、恋人を奪われたディアヌから非難される。<br>また、ジュピテルは、妻ジュノンから、プリュトンが人間の人妻ウリデイスを誘拐した、と告発される。<br>ジュピテルは、メルキュールを呼び出し、この件の真相を解明するよう指示し、プリュドンが犯人とわかる。<br>そこへオルフェと「世論」がやって来て、思ってもいないのにオルフェは「妻を返して欲しい。」と歌う。<br>ジュピテルは、プリュトンに対して、ユルデイスの返還を命じる。<br>ジュピテルは、オリュンポス山での生活に退屈していた神々一同から、ユルデイスが無事返還されること、と活気にあふれた地獄へ遊びに行きたい、と言われたので、許可する。 | 40 | オルフェ     | ジュピテル | プリュトン       | 世論    |      |
|            | 1 | ジュピテルはユルデイスに人目惚れする     | ユルデイスは、地獄のプリュトン(アリステ)の寝室に連れ込まれて、鍵を掛けて閉じ込められているので、身を持って余している。唯一の話し相手であるプリュトンの召使ステュクスから、昔の自慢話を聞かされたり、口説かれたりしていた。<br>ジュピテルが、プリュトンに連れられてくるが、ユルデイスが居ないので、恋の女神キューピドンの知恵によりジュピテルは、ハエに変身して鍵穴から入るが、ユルデイスに一目惚れする。<br>ジュピテルは、ユルデイスが、面白がってハエを追いかけてくれたので、わざとユルデイスに捕まる。<br>ジュピテルは、「ジー、ジー」とハエの音を出し誘惑し、愉快的二重唱となる。<br>ジュピテルは、身分を明かし、これから始まるプリュトンのパーティーのスキを見て、オリュンポスへ一緒に行こう、と誘う。ユルデイスはそれに応じて、バッカスの巫女の姿に変装する。  | 25 | ジュピテル    | ユルデイス | プリュトン       |       |      |
|            | 2 | ジュピテルはユルデイスを自分のものにする   | 地獄でのパーティーに、神々一同が参加しており、大騒ぎとなっている。<br>ジュピテルは、バッカスの巫女姿のウリデイスを逃がそうとするが、プリュトンに見つかり邪魔される。<br>ジュピテルは、オルフェと「世論」から「妻のウリデイスを返して欲しい」と言われるので、「約束だから返すが、地上に戻るまでは後ろを振り向いてはならない。」との条件を付ける。<br>ジュピテルは、地上に戻り始めるオルフェが、なかなか振り向かないので、落雷を起こす。<br>驚いたオルフェが後ろを見ると、妻の姿がないので、オルフェは、喜んで地上のクロエの許へ戻る。<br>ジュピテルは、ユルデイスを、バッカスの巫女にすることにする。  | 15 | オルフェ     | ジュピテル | ユルデイス       | プリュトン | 世論   |

(注)紙の音がするので、開幕中は、このA4紙をしまってください。